

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	511	施策	脱炭素社会への転換の推進
管理事業	環境政策事業	所管部局	環境部

1	所管 室課	環境政策室	事業名	環境政策事業			
事業概要							
環境影響評価事務、地球温暖化対策地方公共団体実行計画（SMAP）管理運用、環境審議会運営、すいた環境サポーター養成、アジェンダ21すいた推進、地球温暖化対策新実行計画管理運用							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1)環境部主導による照明の一括LED化 SMAPの目標年度である令和12年度までに建替え・大規模修繕が予定されていない139の施設について、環境部主導でリース方式による一括LED化を実施した。 (2)環境影響評価事務事業 環境に著しい影響を及ぼすおそれのある一定規模以上の事業について、事業者自らが環境への取組を行う制度であり、その内容を学識者から成る環境影響評価審査会で審査し、持続可能なまちづくりの推進を図った。 審査会の開催回数 令和5年度 3回 令和4年度 3回 令和3年度 4回 (3)SMAPでの取り組み 令和5年度 ENECHANGE株式会社と「吹田市内の普通充電設備の普及に向けた連携協定書」を締結 令和4年度 「吹田市公用車脱炭素化方針」の策定 令和3年度 「吹田市公共施設への木材利用推進ガイドライン」の策定 (4)アジェンダ21すいた 「すいたクールアースウィーク」の取組が「おおさか環境賞」の大賞を受賞			決算額 (千円)	1,261	6,125	11,321	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	16.8	27.2	■ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			令和3年2月に策定した「吹田市第2次 地球温暖化対策新実行計画」に基づき、 更なる地球温暖化対策の推進を図る必要 がある。				
			継続				

2	所管 室課	環境政策室	事業名	環境啓発事業			
事業概要							
環境啓発							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
市民・事業者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立やより良い環境づくりに向けた意識の向上を図った。 (1)すいた環境教育フェスタ参加人数 令和5年度 入場者数 648人 令和4年度 入場者数 777人 令和3年度（オンライン開催）1,473人（ホームページ閲覧数） (2)環境表彰被表彰者 令和5年度 1個人・11団体 令和4年度 1個人・7団体 令和3年度 1個人・6団体			決算額 （千円）	289	317	359	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			市民、事業者、行政の協働により、さまざまな啓発イベント等を実施し、持続可能な社会に向けた意識と行動の変容を促している。事業の性質上、その効果を数値化することは困難であるが、アンケート等の結果を活用し、更なる内容の充実を図っていく必要がある。	今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	511	施策	脱炭素社会への転換の推進
管理事業	環境政策事業	所管部局	環境部

3	所管 室課	環境政策室	事業名	環境まちづくり基金積立事業			
事業概要							
環境まちづくり基金積立							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
環境先進都市の実現に向けた環境施策の推進に係る経費を積み立てた。			決算額 (千円)	30, 285	677	163, 428	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
(1) 令和5年度積立額 寄付金 1, 024, 669円 一般財源 150, 898, 202円 合計 151, 922, 871円							
(2) 令和5年度末時点残高 369, 982, 889円			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
(3) 令和5年度繰入金 庁舎管理事業(ESCO事業) 2, 321, 000円 環境政策事業(マイボトル用給水機) 1, 848, 000円 自然共生事業(里山デイキャンプ) 401, 000円 公園等管理事業(公園灯LED化) 17, 661, 000円 北部消防庁舎等複合施設建設事業(環境配慮) 30, 000, 000円 合計 52, 231, 000円			本基金を積極的に活用し、継続的かつ効果的に先進的な地球温暖化対策等に資する事業を展開する必要がある。 また、環境まちづくり基金中の森林環境譲与税については、継続的かつ効果的な使い道を関係部署と連携して、中長期的な計画を検討する必要がある。				
							継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名